

平成 25 年産 紀南の梅産地情報

.13/06/10

1. 5月20日の定点調査では、南高の着果数は前年に比べ多く平年並み、在来系の着果数は前年・平年共に多かった。南高の実肥りは、31.4mm で前年比 103%、平年比 101%と順調に生育している。

定点調査の着果数（枝径 2 ㍉の枝当たり）と結実率

品 種	平年（10年間）		平成 24 年		平成 25 年			
	結実率	着果数	結実率	着果数	結実率	着果数	前年比	平年比
南 高	9.7%	35 果	7.6%	21 果	11.3%	35 果	169%	100%
在来系	9.4%	32 果	7.6%	24 果	15.5%	41 果	174%	128%

2. 南高梅は5月28日販売から始まっているが、5月中旬からは気温が高温で推移したため、生育が早まり、日々の入荷量は多くなっている。
ピークは6月9～12日頃の見込みで、南高の黄熟・完熟期は、6月15日以降と予想している。
3. 6月1日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 1,010 トン（昨年比 158%、平年比 108%）、古城 955 トン（昨年比 228%、平年比 100%）、南高 22,870 トン（昨年比 141%、平年比 105%）、在来系 681 トン（昨年比 136%、平年比 99%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. JA 紀南では、出荷販売する梅の安全対策として、全ての出荷物の生産履歴記帳と安全点検、生産者毎の出荷物サンプル保管、農薬残留分析（JA 紀南食品安全分析センター）の自主検査による安全確認を実施している。また、食品安全衛生管理の GAP も導入している。
5. 結実後の気象は、5月上旬までは気温が低く推移したが、中旬以降は前年・平年を上回っている。降水量は平年に比べ少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	平年	23 年	24 年	25 年	平年	23 年	24 年	25 年
5月上旬	18.0	18.3	19.4	15.9	57.0	47.0	26.0	25.5
5月中旬	19.0	19.6	17.4	19.5	72.5	56.5	16.0	97.0
5月下旬	19.9	19.1	20.1	21.8	53.4	189.0	5.5	11.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）